



日本共産党平塚市議会議員団

団長 松本 敏子
 電話・fax 59-4607
 mail@matsumoto-toshiko.jp
 幹事長 高山 和義
 電話・fax 31 4638
 k.takayama@mb.scn-net.ne.jp
 渡辺 敏光
 電話・fax 31-6431
 w-toshi@adate.plala.or.jp

日本共産党議員団の法律相談
 今回は4月13日(土)です。
 午後1時から (要予約)

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463 - 23 - 1111 (内線 2375)

平塚市浅間町 9 - 1 平塚市議会控室

No.1208 2013年3月10日発行

PPS (特定規模電気事業者) の利用 平塚市の公共施設では82施設に

2004年から進められた電力自由化によって、これまでの一般電力会社(東京電力など)とは別の電力会社の電気も使えるようになりました。それがPPS (Power producer & Supplier)です。

このPPSは、原発を使わずに電力を製造し、東電などの電線を借りて電力を供給しています。これまで高圧50kW以上の利用施設が対象でしたが、今は高圧電力であればどこでも利用できるようになりました。一般電力会社より安価ということで、自治体を初め銀行、スーパーなど多くの事業所で需要が高まっています。

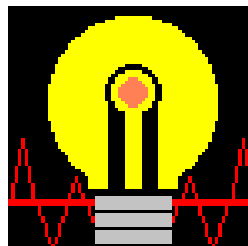
平塚市では、H17年度に競輪場に導入以来、使用施設を拡大してきました。市の施設でPPSが使える高圧受電施設は106施設。平成24年度には56施設がPPS電力に切り替え、平成25年度からは82施設(77.3%)になることが、3月議会の質問でわかりました。

より安く、より安心な電力

PPSは、原発に頼らない電気として注目されています。しかし、これまで、化石燃料(石油など)から製造される場合が多く、原発による電気よりCO2排出量が多いことが問題でした。

しかし、ここ数年で各PPS事業者のCO2排出量が削減されてきたことと、一般電力会社も原発を使用できない状況の中、現在では一般電力よりPPS電力の方がCO2排出量が低い事業者も増えてきました。

平塚市では、行財政改革推進課と環境政策課が一緒になって、より安く、より安心な事業者との契約を進めています。



平成25年度PPS導入予定施設一覧

施設名	導入年度	契約先	契約電力 (kW)	電気使用量	使用料(円)	調整後排出係数 (t-CO2/kWh)
競輪場	H17年度	エネット	2,150	2,198,574	59,168,000	0.000408
小中学校 (43施設)	H20年度	F-POWER	2,837	5,021,000	114,660,972	0.000448
本庁舎・新館 豊原分庁舎	H21年度	エネット	1,123	2,552,900	57,271,162	0.000408
総合公園	H24年度	昭和シェル石油	1,900	3,593,844	86,404,760	0.000370
(ポンプ場8か所) 東部: 桜ヶ丘 撫子原: 山下 馬入: 徳延 東豊田工業団地 土屋浄化センター	H24年度	丸紅	1,989	1,180,000	39,163,504	0.000315
公民館(13施設)	H25年度	エネット	545	801,761	19,758,711	0.000408
日向岡トンネル	H25年度	丸紅	28	155,500	2,409,477	0.000315
粗大ごみ破碎処理場	H25年度	F-POWER	250	318,000	7,720,635	0.000448
給食共同調理場	H25年度	F-POWER	281	384,500	9,155,797	0.000448
市民センター	H25年度	エネット	364	369,954	10,054,872	0.000408
青少年会館	H25年度	エネット	66	96,420	2,330,536	0.000408
高麗山公園レストハウス	H25年度	エネット	39	102,759	2,104,781	0.000408
消防旭出張所	H25年度	エネット	20	57,000	1,145,476	0.000408
教育会館	H25年度	エネット	75	66,800	1,958,548	0.000408
こども教育相談センター	H25年度	エネット	40	39,700	1,107,504	0.000408
図書館	H25年度	エネット	264	421,709	9,919,660	0.000408
博物館	H25年度	エネット	156	335,577	7,214,987	0.000408

上の表の右に表した「調整後排出係数(t-CO2/kWh)」は、H24年11月6日公表の電気事業者別のCO2排出係数(2011年度実績)の数値です。この時の東京電力の「調整後排出係数(t-CO2/kWh)」は、「0.000463」であり、それよりCO2の少ない電力が選ばれています。今年度PPSを導入する施設は、まだ増える可能性もあります。

高校生への奨学金（修学支援金）

1 学年 60 人から 40 人に・・・

	1 人月額 (円)	1 年生	2 年生	3 年生	人数計	決算額(円)
H20 年度	10,500	41	40	40	121	15,246,000
H21 年度	10,500	41	41	40(39)	122(121)	15,372,000
H22 年度	10,500	56	46	44(43)	146(145)	18,354,000
H23 年度	7,000	60	56	46	162	13,496,000
H24 年度	7,000	60	60	56	176	予算額 14,784,000
H25 年度	7,000	40	60	60	160	予算額 13,440,000

高等学校等修学支援金

平成 22 年度に高校の授業料が無償化となりました。この時、県内でも多くの自治体では、「無償化」を理由に奨学金制度は廃止されました。

しかし平塚市教育委員会では、「高校の教育には多くの金額がかかる。授業料が無償化したからといって、奨学金をなくすことはできない」として、「奨学金」を「修学支援金」と名称を変え、金額を 1 万 5 0 0 円から 7 0 0 0 円に引き下げて継続することを決め、現在も続いています。

平成 19 年度（113 万 4 千円）と平成 21 年度（3000 万円）に寄せられた寄付金があり、人数枠を増やして支援してきましたが、平成 24 年度で寄付金が終了し、元の 40 人に戻ることになりました。



どの子も学費の心配をしないで、安心して高校生活が送れるようにしたいですね。

（ここ数年の申請状況）

無償化した平成 22 年春に申請がわずかに下がりましたが、翌年から再び増えていきます。今年（H25 年）の春から認定は 40 人となったため、倍率はさらに上がったことが予想されます。

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
申請(人)	81	115	73	110	104
認定(人)	41	41	56	60	60
倍率	1.98	2.80	1.30	1.83	1.73

高根・万田・西小磯 年々増える鳥獣被害



H19 年 1 月 20 日に万田の檻に 1 頭、同じ場所に 21 日の夜に 2 頭入ったのが、イノシシの捕獲の始まりでした。
(写真は H19 年 1 月 22 日朝、2 頭が入った檻)

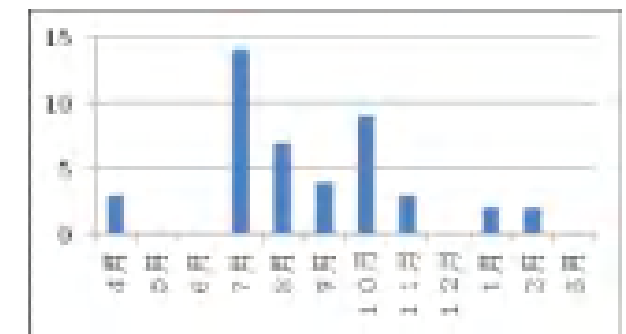
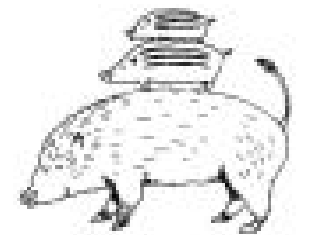
2006 年（H18 年）10 月、平塚市の高麗山周辺ではイノシシによる農作物への被害が広がる中、平塚市と JA 湘南、大磯町、二宮町との協議会が開かれ、ようやくイノシシ捕獲の檻を購入することを決定。

イノシシには気の毒ですが、農作物への多大な被害、猪突猛進のイノシシに小学生や女性が犬の散歩で遭遇したり、民家の庭まで餌を求めてきており、人への被害が起こらないうちに対策を講じることはやむを得ません。

今年度新たに土屋に 3 基、高根・万田に 1 基ずつ、計 5 基の檻を設置し、市内には合計 13 基設置されています。

下のグラフは、JA 湘南が調べたイノシシが捕獲された時期です。

筍が出る頃には、また高麗山を中心とした地域に被害が出るのが予想されます。



資料提供：農水産課より

これまでに捕獲されたイノシシの数

檻の場所	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	計
高根	2	0	2	13	19	21	21	78
万田	3	0	3	10	9	6	2	33
西小磯	0	0	6	5	13	6	5	35
下吉沢	0	0	0	0	0	0	1	1
上吉沢	0	0	0	0	1	0	8	9
	5	0	11	28	42	33	37	156

H24 年度は 2 月 13 日現在の数